

新庁舎の空調設備に新エネルギー 庁舎建設補助金が決定

新庁舎建設の空調システムの事業費約2億1千万円に対し、環境省と農林水産省から約8,400万円の補助金を受けることが決定しました。

新庁舎の空調（冷暖房）は、庁舎建設基本構想において地球温暖化防止などの観点から、環境負荷の少ない新エネルギーの導入や省エネルギーの推進を図ることとし、地中熱熱源システムと木質バイオマス熱源システムの2つの方式を併用します。

この空調システム導入に伴い、大気に排出される二酸化炭素の削減効果は年91.9トンの削減効果は年91.9トンの削減効果は年91.9トン、従来の灯油によるシステムと比較した場合、灯油の節減量は年間約84,000リットルと試算されており、直面する地球温暖化の防止と、環境にやさしいまちづくりを推進します。（総務課）



工事が進む新庁舎



間伐された人工林

今後、市民の皆さんの森づくりを支援していきますので、森づくり事業に取り組むたい森林所有者や地域の方は、農林振興課林業振興係（☎0824・731227）または各支所地域振興室へお問い合わせください。（農林振興課）



参加者の意見を聴く滝口市長（左）

まちづくりについて意見交換 市政懇談会がスタート

市民の皆さんの声を市政に反映させようと、本年度の市政懇談会が7月10日からスタートしました。

市長や副市長は「皆さんと共に真剣に考え、庄原市に生きてよかった、庄原市は頼りになるといわれる市政運営を目指します」などと市政運営報告を兼ねてあいさつ。また、担当課から「環境基本計画」や「地域情報化の取り組み」について説明し、市民

の皆さんと意見交換しました。初日となった東城町の八幡多目的研修集会所では、参加者から有害鳥獣や地域情報化、公共交通などについて、活発な意見が出されました。この市政懇談会は8月29日まで、市内18会場で行います。なお、東城会場が8月19日、西城会場が8月27日、峰田会場が8月29日に変更になりました。（企画課）

本年度の森づくりは約1.8億円 森づくり推進協会で計画を承認

7月18日、林業関係団体や市民団体などの代表者で組織する「庄原市森づくり事業推進協議会」を開催し、本年度の森づくり事業計画が承認されました。

この森づくり事業は、昨年度創設された「ひろしまの森づくり県民税」を財源として、手入れが十分にされていない人工林や里山林の手入れを行い、森林の持つ環境の保全、水源のかん養などの多様な公益的機能を維持していくものです。

本年度の事業計画は、環境貢献林整備事業（人工林の間伐、被害木の処理など）300万、里山林等対策事業（里山林整備、松くい虫被害地整理など）6,340万円です。

父親の家庭参画を考えよう 男女共同参画週間事業2008

6月29日、庄原市ふれあいセンターで、庄原市男女共同参画週間事業2008「お父さんといっしょ！」を開催し、延べ約350人が参加しました。

午前中の「パパと遊ぼう！体験しよう！！父と子の体験教室」では、実験教室、工作教室、料理教室の3つの体験教室を開催しました。

このうち、料理教室では、先輩パパたちのサポートのもと、お父さんたちが汗だくになりながら、「子どもと一緒に、中華ランチを調理しました。お母さんを招待して一緒に食



父と子が参加した料理教室

べた昼食は、ご自分でもかなり満足のいく様子でした。午後の講演会には、30〜40代の方を中心に約200人が参加しました。講師から、職場や家族に助けられ、ときにはぶつかりながら、一生懸命仕事と子ども、両方とも「大切なもの」として関わってこられた話を、ユーモアを交えてうかがいました。

参加した男性から「とても共感できました。また来たいです」と感想が寄せられ、父親の家庭参画を身近に感じる1日となりました。

（女性児童課）



講演会に多くの方が参加

子育て環境を整備 庄原保育所で0歳児保育



保育所で元気に過ごす0歳児（右の2人）

子育て家庭を支援するため、7月1日から庄原保育所が0歳児保育を始めました。

市立保育所の0歳児保育は庄原地域で3カ所目、全体では12カ所目となります。

0歳児保育は、少子化対策として働く親を支援するとともに、より健全な親子関係を確保するためにも保護者からの要望が増えており、10月1日からは三日市保育所でも0歳児保育を始める予定です。

保育所は、これからも子育て支援の拠点となり、家庭や地域の皆さんの保育に関するいろんなご意見やアイデアを大切にしながら、子どもたちの夢が膨らむ保育に取り組めます。（女性児童課）

「よいこい祭」でデビュー 庄原市観光アシスタントが決定

市や観光協会などで構成する庄原市観光キャンペーン実行委員会は7月22日、新しい「庄原市観光アシスタント」を選ぶ選考委員会を市役所で開催し、3人の応募者の中から高田舞子さんと横山愛子さんの2人を選びました。

任期は2年間で、各種イベントでのアシスタント業務や、テレビ・ラジオでの庄原市のPR、市内外での

イベント宣伝などに活躍します。また、最初の大きな行事となる8月22日からの「よいこい祭」では、司会者のサポートや、よいこい大パレードへの参加など、祭りを一層盛り上げます。（商工観光課）



左から横山さんと高田さん

大舞台に向けて選手を激励 北京五輪・全国大会壮行式



出場者を代表し藤岡里穂さんが決意表明

北京五輪・全国大会出場合同壮行式を7月18日、市役所で行いました。

北京五輪2008年平泳ぎに出場する金藤理絵さんは合宿などにより、父・宏明さんが代理出席。また、全国大会に出場する小学生から高校生14人が出席し、滝口季彦市長らから激励のあいさつを受けました。

出席者を代表し、父・宏明さんが謝辞を行い、「北京五輪では、庄原市民の皆さんに元気な姿をお見せします」と理絵さんの手紙を代読しました。

その他、祝金や花束の贈呈、万歳三唱で、出場者を祝福しました。（生涯学習課）

出生を祝う音楽放送開始 市役所窓口で新サービス

新生児の誕生をみんなでお祝いしようと、7月25日から音楽放送事業を始めました。

これは、産科の閉鎖をはじめ出産と子育てを取り巻く環境の変化や少子化が進行する中、出産祝金事業などの取り組みとあわせて、社会全体で出産を喜び、子育てを応援していこうと企画したものです。

市役所の窓口で出生届が提出されると、庁舎内に「こんにちは赤ちゃん」のメロディーを放送してお祝いします。

対象は庄原市民で、届出人に承諾を得たうえでいきます。（市民生活課）



出生届が楽しみな市役所窓口

環境にやさしい生活を提案 庄原市リサイクルフェスタ

7月20日、リサイクルプラザで「庄原市リサイクルフェスタ」を開催し、約500人の来場者でにぎわいました。

これは、循環型社会の構築と地球温暖化の防止に向けた活動を推進しようと、毎年関係者による実行委員会形式で実施し、今年で4回目となります。

今回は、「知っているけど、していない」をテーマに、パネル展示や体験学習、リサイクル品の展示販売、ペットボトルロケット大会などを行いました。来場者はそれぞれの催しを楽しみながら、環境にやさしいライフスタイルを学びました。（環境衛生課）



リサイクル品の抽選販売